

第 137 回 種内関係 1

■群れ,協同という用語を説明せよ。

- ・ 協同：関係し合う個体全てに有利な結果が生じるような、生物の集まり。群れ、群体、苗木などが代表例
- ・ 群れ：同じ場所に集まり、統一的な行動をとる動物の個体群
- ・ 群体：分裂や出芽でできた個体の集まり。捕食などに強い他、分業制もみられる
- ・ 苗木：密植していることで雨風に強い

■アユを例にとり、縄張りについて説明せよ。

- ・ 縄張り：個体の行動圏において、他者の侵入を許さず防衛するような空間のこと。「繁殖縄張り」や「採食縄張り」などがある
- ・ アユは採食縄張りを持つ
- ・ 「縄張りアユ」と「群れアユ」
- ・ ある密度までは縄張りアユは増えていくが、高密度になりすぎるとほとんどが群れアユになる。これは、縄張りを維持するコストと、縄張りをもつことによる利益のバランスが取れなくなるためである
- ・ 縄張りの大きさ：同様に、縄張りを維持するコストと、大きさによって得られる利益のバランスによって決定される

■つがい関係の例を挙げよ。

- ・ 乱婚制
- ・ 一夫多妻制：ハーレム
- ・ 一妻多夫性
- ・ 一夫一婦制

※親ではない個体（ヘルパー）が子を世話する「共同繁殖」というものもある。